

日本時間の1月13日午前6時53分(現地時間1月12日午後4時53分)ハイチ共和国においてマグニチュード7.0の巨大地震が発生、犠牲者は20万人を越えると言われています。日本においても、今から15年前の1月17日早朝、阪神淡路大震災が発生、6,400名を超える方々の尊い命が奪われました。

戦後最大の災害となった阪神淡路大震災においては、多くの消防団員の方々が消火活動や救助活動等に従事されました。日頃から顔見知りである消防団員に対して、住民の理解と協力も早く、効果的な消火活動や救助活動が行われたと言われています。

北方町においても、過去多くの災害に対して、消防団の活動は重要な役割をはたしてきました。これからも、地域を守る消防・防災のリーダーとして消防団員の方々の活躍が期待されます。

北方町の人口H22.1.1現在
(前月比)
男 2,203人(-2)
女 2,351人(+2)
計 4,554人(-0)
世帯数1,828戸

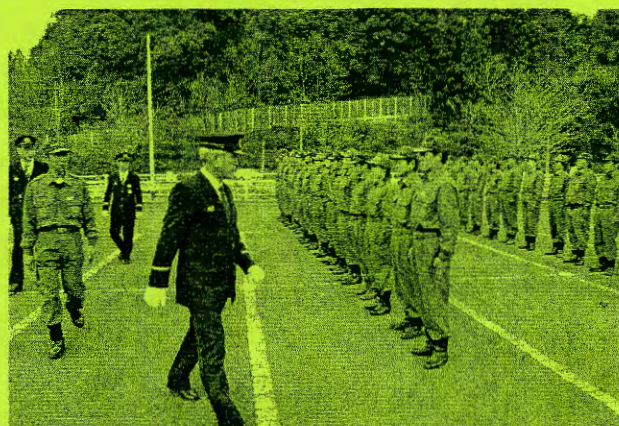
☆消防出初式が開催されました

延岡市消防団第4支団(北方地区)の消防出初式が1月10日、北方文化センター駐車場(第1会場)と野口記念館(第2会場)で開催されました。

団員約200名が参加して開催された第1会場では、分列行進に続いて通常点検と一斉放水が行われました。

また、第2会場では、消防団活動に貢献のあった方々へ宮崎県知事表彰などが行われました。

北方町で受賞された方々は裏面のとおりです。



写真は通常点検(柳田健一点検長)の様子です

☆平成21年度交通安全功労者等宮崎県知事表彰・受賞

北方小学校が交通安全優良校として表彰されました

北方小学校では、交通安全活動として、学校・地域・家庭との連携による登下校の見守り活動などが行われてきました。

また、関係機関との連携により、交通安全教室や安心安全教室などを実施し、児童の交通安全意識の高揚が図られてきました。

特に親子通学路点検や低学年児童を1人で下校させないために待機させる「なかよしクラブ」の設置など交通事故防止活動が積極的に行われてきました。このような取り組みが認められ、今回の受賞となりました。

※今回表彰されたのは、県内395校の県内公立小中学校の中から5校でした。



毎朝、ボランティアの方による見守り活動(交通安全指導)が行われています。(総合支所前横断歩道)

○世界農林業センサス(農林業経営体調査)が実施されます

2月1日を基準日に2010年世界農林業センサスが実施されます。この調査は、5年ごとに実施されているもので、農地・山林の所有と利用状況、農林産物の生産・販売状況などを調査するものです。

対象となる世帯には、調査員が伺いますので調査へのご協力をお願いいたします。



農林業センサスマスコット「つつー」

40~74歳の
延岡市国保加入の方へ

特定健診のご案内



今年度、地区公民館や病院等で健診を受けていない方を対象に下記のとおり特定健診を行います。是非この機会をご利用ください。

月日	場所	受付時間	内容および料金	申込期限
2月21日 (日)	健康管理センター (市役所横：旧税務署跡)	13:00~13:30	特定健診：1,000円 (身長・体重・腹囲計測、尿検査、 血圧測定、血液検査、診察)	2月17日 (水)

【申込方法】健康増進課（電話22-7014）へ電話でお申し込みください。

【健診時必要なもの】国民健康保険証、受信券（ピンク色：昨年4月末に健診の対称になっている方に送付してあります。紛失等で受診券をお持ちでない方も受診できますので、健康増進課までお問い合わせください。）

○第4回元気な干支の町フォーラムが開催されます

北方地区地域ぐるみ教育推進協議会では、第4回元気な干支の町教育フォーラムを開催します。フォーラムでは、北方町内の幼稚園・保育園、学校関係者や保護者、婦人会などにより意見発表や芸能発表が行われます。

下記日程で行われますので、お気軽にご来場ください。

- 1 日程 平成22年2月28日(日) 8時30分~12時10分
- 2 場所 北方文化センター
- 3 内容

①受付	8時00分~	④9時40分~	学校支援地域本部事業報告
②開会行事	8時30分~	⑤10時30分~	芸能発表及び学校等発表
③意見発表	8時55分~	⑥12時10分~	閉会行事

○22年度交通災害共済の受付が始まります

「小さな掛金 大きな安心」

交通災害共済とは、日本国内において、自転車、バイク、自動車、航空機、旅客船等の交通に伴う事故により死傷したときや、踏切内で電車等に接触し、死傷したときに支払われる見舞金制度の事です。

- 1 共済期間 平成22年4月1日~23年3月31日
- 2 共済掛金 一人につき年額500円
- 3 申込方法
 - ①申込期間 平成22年2月1日~3月31日
 - ②申込方法 ゆうちょ銀行からお振込みください。
 - ③申込用紙 2月上旬に各地区長さんへ配布いたします。
- 4 お問い合わせ 北方町総合支所 地域振興課 電話47-3600



○バレーボール V・プレミアリーグ 入場券好評発売中！

日本バレーの最高峰、バレーボールV・プレミアリーグが延岡市民体育館にて開催されます。この機会にぜひ会場へお越しください。

- 1 日程 平成22年3月20日(土)

第1試合	13時00分試合開始	サントリーサンバース VS 大分三好
第2試合	15時00分試合開始	豊田合成 VS FC東京
- 2 会場 延岡市民体育館
- 3 料金

A席	3,900円
B席	3,500円(当日3,900円)
C席	3,000円(当日3,400円)
立見席	1,500円(当日1,900円)

お問い合わせは、
北方クラブ林田まで
携帯電話090-5283-2052

受 賞 者 名 簿 (敬称略・順不同)

1) 宮崎県知事表彰 定例表彰 (1名)

所 属	階 級	氏 名
第1分団	分団長	亀 長 俊 裕

2) 宮崎県消防協会長表彰

功績章の部 (1名)

所 属	階 級	氏 名
第2分団	分団長	甲 斐 郁 夫

精績章の部 (4名)

所 属	階 級	氏 名
第2部	班 長	甲 斐 篤
第3部	班 長	後 藤 和 弘
第6部	班 長	石 田 浩 一
第11部	部 長	角 田 靖 久

特別表彰【親子団員】 (15組)

所 属	階 級	氏 名
団本部 第3部	支団長	後 藤 義 昌
	団 員	後 藤 慎市郎
第1部	部 長	松 永 誠 一
	班 長	松 永 祥 貴
第4部	団 員	木 村 俊 一
	団 員	木 村 正 芳
第6部	団 員	山 口 久寿男
	団 員	山 口 真一郎
第7部	団 員	柳 田 明 夫
	班 長	柳 田 拓 哉
第10部	団 員	緒 方 剛
	班 長	緒 方 秀 允
第11部	団 員	新 本 道 徳
	班 長	新 本 嶺
第14部	団 員	大久保 久 永
	班 長	大久保 伸 正
	班 長	大久保 大 喜
第16部	班 長	甲 斐 孝 徳
	団 員	甲 斐 仁 志
	団 員	甲 斐 新 市
	団 員	甲 斐 新 也
第17部	団 員	宮 木 茂 章
	団 員	宮 木 隆 慈
	団 員	甲 斐 隆 幸
	班 長	甲 斐 聡 史
	団 員	井 川 美 利
第18部	団 員	井 川 和 成
	団 員	甲 斐 健 市
	部 長	甲 斐 聖 也
	団 員	甲 斐 正 巳
団 員	甲 斐 和 明	

【兄弟団員】 (1組)

所 属	階 級	氏 名
第7部	団 員	田 辺 文 生
	団 員	田 辺 雅 文

【夫婦団員】 (2組)

所 属	階 級	氏 名
第11部	団 員	中 村 義 幸
	団 員	中 村 み え
第11部	班 長	西 村 治 義
	団 員	西 村 朱 美

感謝状【内助の功】 (1組)

地区名	団員氏名	被表彰者名
曾木 (所属: 支団本部)	千坂 恒利	千坂 裕子

3) 宮崎県消防協会延岡支部長表彰

定例表彰 (8名)

所 属	階 級	氏 名
支団本部	部 長	甲 斐 真
第1部	班 長	伊 東 敏 明
第1部	班 長	大 野 康 幸
第2部	部 長	佐 藤 紀 彦
第6部	部 長	高 見 慎 吾
第9部	部 長	河 野 圭 介
第14部	部 長	中 島 一 幸
第16部	部 長	木 野 隆 一

4) 延岡市長表彰

定例表彰 (2名)

所 属	階 級	氏 名
団本部	指導員(部長)	甲 斐 龍 二
団本部	指導員(部長)	太 田 厚 生

感謝状 (一般協力者の部: 1名)

地区名	氏 名	備 考
蔵 田	蔵田地区会	防火水槽用地提供

感謝状 (事業所の部: 1業者)

地区名	事業者名	備 考
蔵 田	土田工務店	団員5名が在職

5) 延岡市消防団長表彰

定例表彰 (15名)

所 属	階 級	氏 名
支団本部	班 長	菊 池 陽 三
第1部	部 長	松 永 誠 一
第2部	班 長	山 内 大 輔
第3部	部 長	川 上 忠 頼
第4部	部 長	中 尾 丈 二
第4部	班 長	島 山 智 樹
第5部	部 長	粟 田 裕 之
第7部	部 長	工 藤 勝
第8部	部 長	中 島 真 吾
第10部	部 長	山 口 友 則
第12部	部 長	山 口 久 嗣
第13部	部 長	山 田 誠
第13部	班 長	藤 本 英 美
第15部	部 長	亀 長 謙 一 郎
第18部	部 長	甲 斐 聖 也



◎有害鳥獣の話！！

穂菜実では、農作物の生産販売等を題材として掲載していましたが、今回はシカやイノシシ、カラスなど農作物被害や林産物被害の報告が各地区から出ていますので有害鳥獣のことについて触れたいと思います。

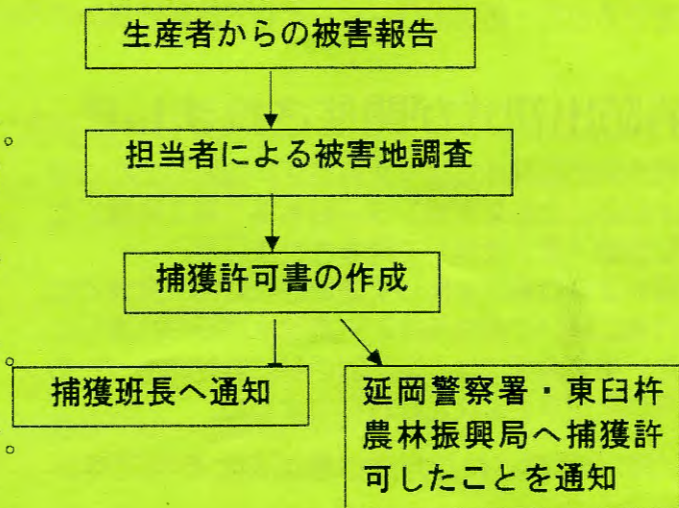
◎有害鳥獣の捕獲について

有害鳥獣の捕獲許可については申請から許可まで右図のようになりますが、1日も早く許可できるよう申請等事務を行っています。

シカやイノシシ、猿は行動範囲が広域で捕獲許可を交付したときには、その場所にいないこともあります。この事務手続を迅速に行って、鳥獣被害が最小限になるよう捕獲班と連携して農作物の被害の軽減を図っています。

生産者の方々の協力も必要となりますので、鳥獣被害の軽減にご協力をお願いします。

有害鳥獣捕獲許可の流れ



◎鳥獣被害防止のポイント

- ①家庭から出る食物の食べ残しを田や山林に捨てないこと
理由・・・家庭から出る食べ残しを田や山林に捨てると、イノシシやシカがそれを食べて自分でエサを探さなくなり、そこに住みつくようになるためです。
- ②耕作放棄地を出さないこと
理由・・・耕作放棄地はイノシシやシカ、猿などの隠れ家となり、その近くに栽培している水稲や果樹を食べるため、耕作放棄地の立木や立草を伐採することで被害軽減の効果があると言われています。
- ③収穫が終わった水稲の切り株は耕起してすき込むこと
理由・・・シカは収穫後の水稲から出る二番穂を食べると言われています。水稲の収穫後はなるべく早めに耕起してシカのエサとならないようにしてください。
- ④鳥獣を見たら石を投げたり追いかけたりすること
理由・・・イノシシやシカは石を投げたり追いかけたりすることで、人間は怖いと意識するため、イノシシやシカ、猿を見かけた場合は、このような行動を取ってください。
- ⑤電気柵や防護ネットを設置し被害軽減を図ること
理由・・・田畑の畦に電気柵等を設置することでイノシシやシカの被害防止を図りますが、設置方法や通電していることを確認してください。

鳥獣被害の防止は、地区単位または集落単位で共同で行うことにより大きな効果があると言われています。上記のことを各地区・集落で取り組んでいただき自分たちみんなて鳥獣から農産物を守る取組みをお願いします。